

# その人らしい暮らしを支える

～すべての支援を拒否しつづけたケースを通して考える～

令和5年2月13日

桑名市南部地域包括支援センター

# 《目次》

**01** はじめに

---

**02** セブンルール～いつもしている7つの事～  
事例紹介

---

**03** まとめ

---

**04** 今年度の活動

---

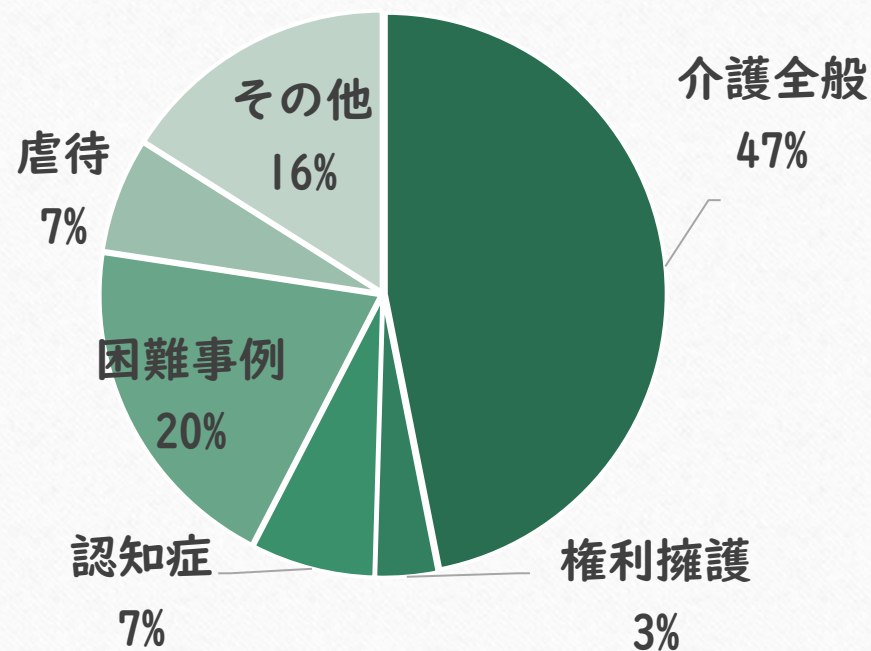


## 01 はじめに

# 南部地域包括支援センターの相談内容

- R4年4月1日～12月31日までの総数1892件  
相談内容内訳

介護全般	1185
権利擁護	90
認知症	180
困難事例	501
虐待	166
その他	405



# 南部地域包括支援センターの相談内容

相談内容別相談件数(1か月平均)



# その人らしい暮らしって何だろう？

「ネコや犬と一緒に暮らしたい」

「カラオケがしたい」

「最期まで自宅で暮らしたい」

「もう治療をしたくない」

「お家を売って施設に入りたい」

「一人暮らしを続けたい」

相談

「本当は〇〇  
したいのに」

「自分で買い物に出かけたい」

「畑で野菜を作りたい」

「夫婦ずっと一緒にいたい」

「ご飯をおいしく食べたい」

「友人とランチに行きたい」

相談の中にその人らしさがある！



# その人らしい暮らしを支えるって何だろう？

高齢になっても認知症になっても障害があっても病気になっても自分らしく生きていきたい。

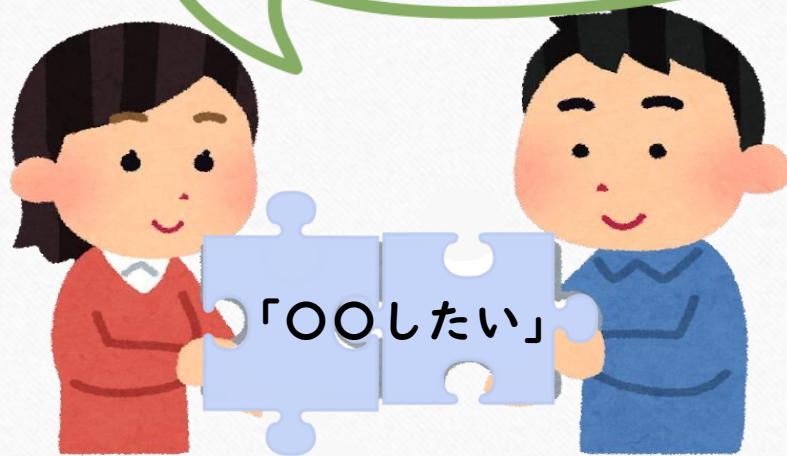
住み慣れた地域に住み続けたい。家族と暮らし続けたい。

笑いあっていたい。心豊かにいたい。感謝したい。感謝されたい。



# その人らしい暮らしを支えるって何だろう？

みんなで、その人の思いを聴いて  
パズルのピースをつなげよう



自分らしく、生き  
生きと暮らし続け  
る事ができるつな  
がりづくり



## 02セブルール 事例紹介

**7 RULES** ~いつもしている7つの事~



## 事例

何も困っていない、手伝ってもらわなくてもよい  
と言いつづけていたAさんとの伴走的支援

RULE 1

生活歴を知る

## 本人紹介



### ○生活歴

Aさん86歳 女性 30歳ごろ結婚し2男4女を儲けるが40歳の時に夫が他界。その後は一人で子供を育てる。鋳物工場で働いていて男勝りの性格。以前は4女家族と暮らしていたが障害を持つ長男のアパートに転がり込む。

### ○状態像

要介護3 (R2/12/28～) 耳が遠く、目がほとんど見えない。  
下肢筋力の低下がありよく転ぶ。心不全で呼吸苦あり。  
理解力は低いが記憶力はしっかりしている。

### ○家族構成

長男と三女の子 (孫) との3人暮らし。(アパート生活)



## 家族紹介



〈長男〉

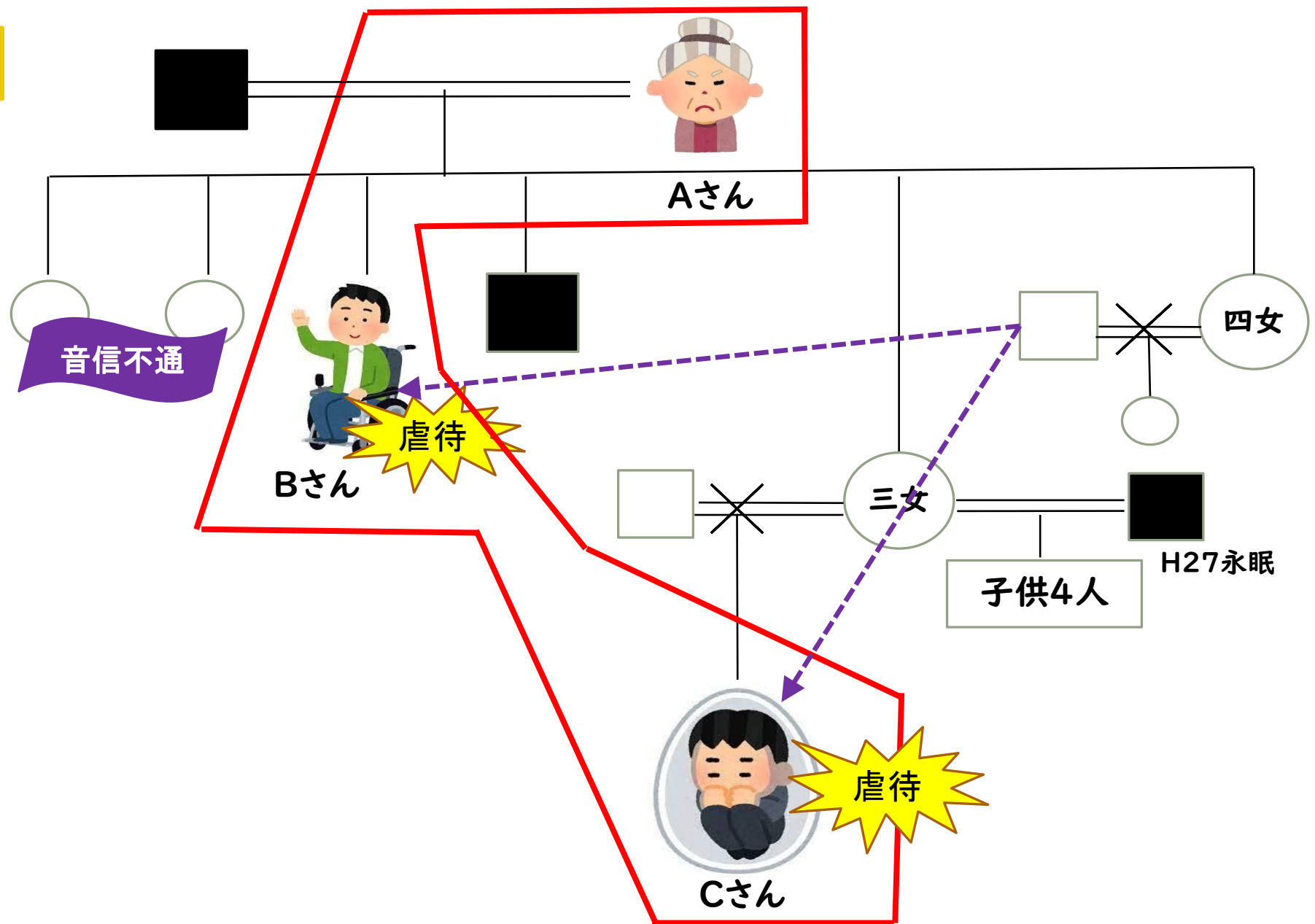
Bさん55歳 男性 筋ジストロフィー、心疾患（身体障害者手帳1級）  
療育手帳A-2 四女夫婦と同居していたが四女の夫より経済的虐待  
等があり支援機関が入院を機に分離を図る。日常生活自立支援事  
業を利用している。



〈孫〉

Cさん26歳 男性 特別支援学校を卒業後自宅に引きこもる。  
療育手帳B-2  
三女が再婚するとき四女に預けられ四女家族と同居していたが、  
四女の夫からの身体的・精神的虐待が始まり、そこから逃れるため  
長男の所に駆け込み同居となる。

# 家族図

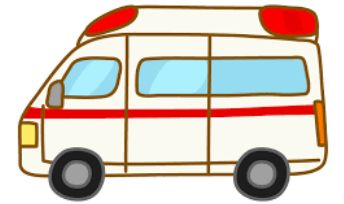


# RULE 2

**こだわりを尊重する**



## 事例概要



### ○支援介入までの経過

- H27年 5月 外出時崖から転落 救急搬送 頭部4針縫合、骨盤骨折、肋骨骨折 (包括介入)
- H29年11月 苦しいと救急搬送 心不全 (包括介入)
- H29年12月 赤黒い吐物あり救急搬送 心不全、心肥大、胃潰瘍、腰椎多発性骨折 (包括介入)
- R2年 8月 近くのスーパーで倒れて救急搬送 脱水の診断 (包括介入)
- R2年 12月 自宅で転倒して救急搬送 胸椎、腰椎圧迫骨折 (包括介入)



大丈夫ですかー



何だか生活が回っていない様子  
で大変そう・・・

今までは・・・



何にも困っていない。  
助けてもらわんで  
ええ！！

ところが・・・

R3年2月 スーパーでうずくまっている。目が見えず途方にくれていた所、通行人が通報しその後駆け付けた警察官により自宅に送り届けられる。連絡を受けた包括が自宅へ出向き本人と話をする。







欲しいものが買えない。  
もう疲れた。  
体がえらい。  
助けてほしい

# RULE 3

**包括内で共有する**

## 課題整理



自宅の環境が不衛生。3人の生活においては、特に長男に経済的負担がかかっている、収支が赤字になっている。このままいくと借金地獄になっていく。孫は仕事したい気持ちがあるが、本人の世話をしておりその代替者がいない。

介護予防  
支援室



自宅の清掃と  
環境整備



Aさんに介護サービスを  
導入し健康管理していく

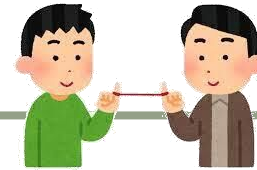


日常生活  
自立支援  
事業

Bさんの病気が悪化して  
いく前に施設入所に向け  
てより働きかける



Cさんに作業所を紹介し仕  
事を見つけることで社会と  
のつながりを見つける



障害  
福祉課

南部包括

ケアマネ

障がい者総合  
相談支援セン  
ター

# RULE 4

**その人が持っている力を  
引っ張り出す**



## 経過1

R3年3月～R4年5月

本人



自宅のクリーニングを行い住環境は改善した。毎日ヘルパーを利用し週に2回デイサービスに行き始め元気になった。何よりデイサービスで入るお風呂がとても気持ちよいと喜んでいた。

できる！



しかし元来の性格からヘルパーを拒否し始め、訪問回数が減っていく。とうとう来たヘルパーを叩くようになり「もう来ていらん」と訪問中止となる。また、どうしてもお金を他人には任せられないと年金支給月には保険外の介護タクシーを利用し、自ら銀行に出向きほぼ全額引き下ろした後、長男に渡すというルーティンは曲げなかった。

長男



作業所はやめる事となり、デイサービスは新しく星見ヶ丘にできた場所に変更する。以前は嫌がっていたショートステイも定期的に利用している。病状も進行しており、施設の空室ができたなら入所の方向で進めていけるとよいと相談している。

孫



障害福祉課の紹介でA型作業所に通うようになり、笑顔が増えていく。作業所の職員と信頼関係ができ、一緒に食事に行ったり映画を見に行ったり楽しい時間が増える。また、障害年金を受給できるようになり収入も増えた。

ところがまた・・・

R4年9月

- ・ ベッドから落ちたりと生傷が絶えない。
- ・ トイレに間に合わない為尿失禁が増え尿臭がきつくなる。
- ・ 目が見えない為食べこぼしが日常茶飯時となり自宅にゴキブリが多量発生する。
- ・ 本人の服の中からぞろぞろ虫が出てきた為、デイサービスから利用を断られる。
- ・ アパートの大家から「このような状況が続くのであれば出て行ってもらう！」と言われる。
- ・ 本人の下ろした年金の使いみちが見えず、長男や孫も「知らない」の一転張りでどんどん医療費や介護サービス費の滞納が膨らんでいく



# RULE 5

いろいろな機関を巻き込む

## 課題整理



自宅の環境整備が再度必要、再発防止のために衛生環境を保つ。本人は本人の収入で生活ができるように支援していく。3人が必要なサービスを受けながらそれぞれの場所で安心して生活ができるよう色々な機関に支援に入ってもらおう。



介護予防  
支援室

障害  
福祉課

障害  
支援  
事業所

南部包括

福祉用具  
事業所

A型  
作業所

ケアマネ

障害者  
施設

障がい者総  
合相談支援  
センター

自宅の環境整備と  
再発防止

Aさんを日常生活自立  
支援事業に繋げ収支を  
整える

Bさんの施設入所の  
契約に進む

Cさんの自立に向け、  
これからの生活基盤を  
作る

日常生活  
自立支援  
事業

有料老人  
ホーム

生活支  
援室

**RULE 6**

**一緒に動く**

## 経過 2

R4年10月～11月

本人



Bさんから日常生活自立支援事業の利用を勧めてもらおうと、「息子がいうならそうする。」とスムーズに契約にすすむことができた。長男が入所することを伝え今後は別々の場所でそれぞれ生活していく提案をすると「3人で一緒に住めないなら施設入所する」とあっさり入所へ意向転換、有料老人ホームへ入所となる。

## 長男



施設に入る為には身元保証人が必要となる。民間で希望に合った保証会社を見つけ契約、その後ショートステイを利用していた施設に空きが出た為入所の運びとなる。

## 孫



作業所の職員や障害支援事業所の支援により新しいアパートが見つかり一人暮らし開始となる。困ったことがあると作業所の職員に連絡し確認している。Aさんが心細くならないよう周囲の支援機関や作業所の職員で温かく見守っている。

RULE 7

寄り添う対応

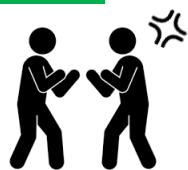


## 考察

生活歴を聞くと、Aさんはこれまで相手を信じて裏切られたことがあり、他人を受け入れられない気持ちが強かった。ただ、高齢になるにつれて体が思う様に動かなくなってくると誰かに助けてほしい気持ちが生まれてきた。そして、ほとんど疲労困憊した時に声をかけると、素直に「助けてほしい」と話したが、それはこれまで本人の状態が悪くなる度話に行き何か困っていないかを尋ね、希望があればいつでも支援できるからねと伝えていたことも大きな要因になっていたのではないかと考える。  
(拒否されても諦めずに何度も訪問し、Aさんの思いを確認した。)

- ① 息子や孫を思う本人の気持ちに寄り添い、無理と決めつけず限界まで自宅での生活を続けた事。
- ② 少しずつ周囲の支援者を信頼し、家族3人が納得したうえでそれぞれの新たな場所での生活を始められた事。
- ③ そのためにたくさんの支援機関が一丸となって3人の伴走的支援に徹した事。  
これが大きな成果につながった。

START



GOAL



# 7 RULES

1. 生活歴を知る
2. こだわりを尊重する
3. 包括内で共有する
4. その人が持っている力を引っ張り出す
5. いろいろな機関を巻き込む
6. 一緒に動く
7. 寄り添う対応

## 03 まとめ

その人らしい生き方を支える=その人らしさを尊重する事  
これからもその人のこれまで過ごしてきた人生の背景に着目して一緒に  
寄り添って笑顔を引き出せるようなサポートをしていきたい。  
そして、これからも自分らしく生き生きと暮らし続ける事ができるよう、いろ  
いろな方とのつながりを作っていきたい。



# 04 今年の活動

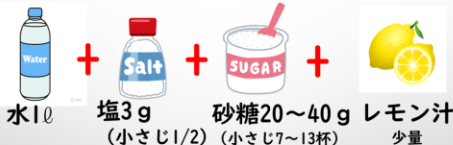


## 南部包括だより

2022.夏号 (NO32号)

こんにちは。本格的な夏を迎え暑い毎日が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。脱水症・熱中症予防のために水分補給やバランスのよい食事をとって元気に夏を乗り切りましょう！

### 熱中症予防のポイント

<b>暑さを避けましょう</b> 暑い日は、涼しい服装や日傘・帽子の使用を心がける事が大切です。少しでも体調が悪くなったら涼しい場所へ移動するようにしましょう。	<b>日頃から体調管理</b> 普段から「栄養バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」で規則正しい生活を意識し、体調管理に努めましょう。
<b>こまめに水分補給</b> 汗をかき体温調節をするためにも体の水分量の維持はかせませません。のどが渇いていなくても、こまめな水分補給を心掛けましょう。	<b>～経口補水液の作り方～</b>  水1ℓ + 塩3g (小さじ1/2) + 砂糖20～40g (小さじ7～13杯) + レモン汁 少量 <b>水に材料を溶かすだけ！</b> *500mlペットボトルで作る時は、材料を半分にします。
<b>室内環境を整えましょう</b> エアコンを使用する際は28℃を目安に温度設定をしてください。多数人が出入りするような室内空間では窓やドアなど2か所開けた状態で(換気)、空調を自動させましょう。	



ご家庭の電話機に市役所や警察を名乗る不審な電話がかかってきたことはありませんか？  
～それは詐欺の電話かもしれません～

〈お問い合わせ先〉  
☎ 0594-24-1337  
桑名市役所 危機管理室



桑名市で令和4年6月1日以降に購入したものを対象に特殊詐欺被害防止機器の購入費を補助してもらえます  
補助金額：対象機器の購入と設置に要する費用の2分の1 上限1万円  
対象者：市内在住の満65歳以上の方等  
対象機器：詳細は桑名市ホームページ参照  
申請方法：対象機器を購入後申請用紙と商品パンフレット等の写し、領収書の写し等（他書類あり）市役所危機管理室へ提出

桑名市で令和4年6月1日から特殊詐欺被害防止機器を無料で貸出してもらえます  
期間：6か月  
料金：無料  
対象者：市内在住の満65歳以上の方  
申請方法：貸出申請書を市役所危機管理室に提出

### 地域の取り組み：大貝須集会所

城南大貝須では住民さん主体で桑名いきいき体操とお話を開催しています。  
場所：大貝須集会所 開催日：毎週木曜日10:00



### ACPの話ともしバナゲームをしました

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは将来の医療及びケアについて患者さんを主体にその家族や近しい人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い患者さんの意思決定を支援する(プロセス)のことです。



〈日進：梅の郷 6/1〉



〈益世：さんさん6/7〉



〈城南：そよかぜ 6/7〉

### オレンジカフェを開催しました

〈走井山公園：4/1〉

桜満開の中、絵本の読み聞かせなどして楽しい時間を過ごしました



〈珈琲家アトリエ：毎月第3木曜日〉

珈琲や紅茶など、とてもおいしくて、話に花が咲きました。毎月開催予定!!



場所：  
矢田磯2-1  
ライフページ1階  
開催日：  
毎月第3木曜日  
参加費：飲み物代  
申し込み：不要  
14：00～15：00

### 9月は世界アルツハイマー月間です

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と推定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。また9月を「世界アルツハイマー月間」と定め様々な取り組みが行われています。  
桑名市内でも中央、長島、多度の3か所の図書館で認知症の理解への啓発として作品展示などのコーナーを設けています。図書館に行かれた際にはよかったですらお立ち寄り下さい。

☆以前の図書館展示の様子です☆



### 〈編集後記〉

皆様いつも包括の活動にご協力いただきありがとうございます。南部包括だよりは毎年2回夏号、新年号と発行させて頂いています。半年分の活動のご紹介をさせて頂いていると月日の流れるスピードに圧倒させられます。次回は新年号、先の方でおそらくすぐやってくるでしょう。まずは元気であと半年過ごせますように！最後まで夏号を読んでいただきありがとうございました。

桑名市南部地域包括支援センター

電話 25-1011

FAX 25-1155





# 南部包括だより

2023年新年号 (No.33号)

## 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。これからも地域の高齢者の皆様が、住み慣れた場所で、自分らしく元気に暮らしていけるようお手伝いをしていきたいと思ひます。本年もよろしくお願いいたします。

桑名市南部地域包括支援センター職員一同



## 元気で長生きの秘訣ってなに？



- ・運動をする？
- ・タバコは吸わない？
- ・お酒はほどほどに？



それ以外にとても大事なことがあるんです！  
それは・・・



## 人とのつながり！！

誰かと一緒に運動をする。

ご近所の活動場所は、包括へお問い合わせください。



SNSでつながる。

お互いさませえ愛のあるつながりをつくろう

こんにちは

外に出てご近所さんとあいさつ。



ご近所のお困りごとのお手伝いをされている方20名で意見交換をしました。

37歳

ご近所さんのちょっとしたお困りごとのお手伝い。

## 地域の取り組み

昨年も認知症サポーター養成講座を行いました！



R4.7.25 益世地区  
お茶室から30分間の講座



R4.10.24 城南地区  
(わかば会)



R4.10.17 日進地区  
in十番寺

城南地区では乳幼児をもつお母さん世代(30代前後)を対象に開催しました。

キッズサポーター

十番寺で初めて開催しました。たくさんの方に参加していただきました。



R4.10.12 日進小学校



R4.10.12 日進中学校



R4.10.17 城南中学校

R5.1月には益世小、城南小でも開催を予定しています。お楽しみに！



R4.9.15 もの忘れ相談会

スギ薬局大福店のコミュニティスペースをお借りして認知症初期集中支援チームドクターによる無料のもの忘れ相談会を開催しました。



R4.11.30 大いちょうオレンジカフェ in 圓通寺

樹齢400年のいちょうの木が有名な圓通寺でオレンジカフェを開催しました。迫力のある大きな木の下で温かい飲み物を飲みながらお話やレクリエーションを楽しみました！



## それぞれの地区でノルディックウォーキングを行いました！



令和3年に城南地区で開催したノルディックウォーキングを今年はその地区で開催しました。城南・益世地区は安東 広晶氏、日進地区では日比 美紀氏を講師に招き、体験会を行いました。城南地区では1年前に「キートス城南」が立ち上がり、日進地区では「ノルディック日進」が活動を開始しました。皆さんも一緒にノルキンしませんか？



### 編集後記

昨年も皆様のおかげでイベント盛りだくさんの楽しい1年でした。ありがとうございました。皆様はどんな1年でしたか？今年も皆様にとって良い1年になるよう心からお祈り申し上げます。

桑名市南部地域包括支援センター

電話 (0594)25-1011

FAX (0594)25-1155







ご清聴ありがとうございました